

## 1 学期をふり返って

校 長 田川 敏明

1学期が終わりました。各学年ならではの特色ある1学期の教育活動のいくつかを振り返ってみましょう。

### 1 年生

クロネコヤマトの交通安全教室では、1年生とは思えないほど集中して道路の渡り方などを学ぶことができました。大きなお鍋や重いひしゃくを動かす活動を通じて、給食をつくる人の大変さにも気づくことができました。国語のおおきなかぶの学習では、どのクラスからも「うんとこしょ、どっこいしょ」の元気いっぱいの音読の声が聞こえてきました。

### 2 年生

キュウリやミニトマト、大豆を頑張って育てました。支柱は地域の方々に作って頂きました。食べ頃になった新鮮なキュウリは給食時に食べました。キュウリが好きになった子が増えたとか?!算数の「赤水と青水のかさのくらべかた」の学習では、どのクラスも同じ大きさのカップを使って、実際に何ばい分と測り取る活動に夢中になっていました。

### 3 年生

昔の沖代の様子を地域の方々に教えて頂いたり、豊田俳句の会の方々に招いて俳句教室を行ったりしました。自分で作った俳句のよいところを誉められたり、もっといい句ができるようにアドバイスを受けたりながら楽しく学ぶことができました。キャベツについての卵や青虫をとって、成虫になる様子をしっかりと観察することができました。

### 4 年生

終末処理場では、汚れた水をきれいにするのは微生物であることに驚き、干潟体験では、「あっ」というまに広大な干潟ができることやそこには多くの生き物がくらしていることに大きな驚きを持った4年生です。国語の「アーチ橋の進歩」の学習では、段落相互の関係から意味段落をとらえ、パンフレットを完成させることができました。

### 5 年生

香々地では、いかだの活動などで力を合わせてきびきびと活動し青少年の家の先生から褒められた5年生です。支え合い・分かち合い・高め合い「GO・GO・GO」に向かって頑張ることができました。また、幼稚園との第一回目の交流会「プール遊び」が昨日行われ、幼稚園の子どもたちをおんぶしたり、手を引いてあげたりして楽しませることができました。

### 6 年生

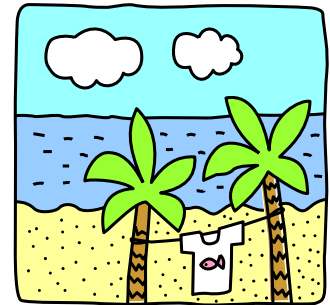
修学旅行では、長崎の原爆の語り部の方の話に真剣に聞き入り、平和のために自分たちにできることを考えることができました。縦割り班では、全校のリーダーとして班をまとめ、校舎の引っ越しでは、「まだ運ぶものはありますか」と、進んで仕事を引き受けようとする姿に、最高学年らしい頼もしさを感じました。1年生にとっても優しく関

どの学年も1学期の一つ一つの活動をやり抜くことができました。やり抜くことで子ども達は、頭の力・体の力・心の力を確実に高めていき、次の目標をめざしていくことができます。1学期の教育活動に対しまして、保護者の皆様方のご理解とご協力を頂きましたことに心から感謝申し上げます。

さて、明日から夏休みに入ります。子どもたちには夏を思いっきり満喫してほしいと思っています。44日の長い夏休みが、子ども達にとって新たな成長の場となりますよう心から願っています。

# 地区連絡会への参加 ありがとうございました！！

5・6月に各地区ごとに地区連絡会が開催されました。取り組みに対するご理解、ご協力ありがとうございました。本年度も「かけはし」を通して地域とのつながりを深め、子どもたちの健全育成を図っていきたくと思います。地区連絡会で出された子どもたちの地域での様子、学校への要望や危険個所の情報をもとに、現状を確認したり、関係機関に連絡を取ったりします。また、指導が必要なものについては職員会議で検討し、共通理解を図りました。（詳しくは7/17配布文書にて）



## 夏休みにきをつけてほしいこと

### 川や水路での注意

最近、夕刻になると突然の豪雨になることがあります。そんなとき、川や水路は予想を上回る変化をすることがあります。突然の水位上昇や見えない深みなど大人でも予測不可能な事態が起こっています。（この辺で降っていなくても、山の方で降ると同じことがおきます）川や海での魚釣りや水路での水遊びなど、危険箇所には近づかない指導をご家庭でもお願いします。家族で水場に行かれる場合はもちろん、子どもたち同士での遊びの中でも気をつけるよう呼びかけて水の事故をゼロにしたいものです。



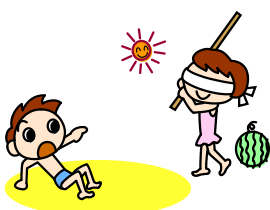
**なお、沖代小学校では、水路に入ることは禁止しています。**



### 自転車の乗り方に気をつけよう。

もうすぐ夏休みです。自転車に乗って遊びに行く機会も増えることだと思います。飛び出しや、並行運転などの危険な乗り方をせず、事故のない夏休みを過ごしてほしいと思っています。

子どもは大人に比べて体重に占める頭の重さが重く頭蓋骨も柔らかいため、転倒の際に頭から落ちて大ケガを負うことも多く、ヘルメットの着用で救命率があがります。実際にヘルメットを着用していただくため大事に至らずすんだという例はたくさんあります。



夏休みが始まる前に配布済みの「夏休みのしおり」をお子さんと一緒に読み、約束等を家庭で是非確認しておいてほしいです。命を大切に作る夏休みになればと思っています。